

標準施工要領書

断面修復用ポリマーセメントモルタル

カチモルハード

株式会社レゾナック建材

営業部

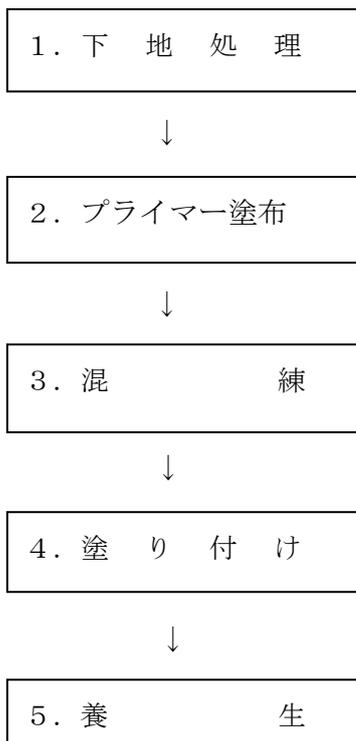
〒221 - 8517
神奈川県横浜市神奈川区恵比須町8番地
TEL 045(444)1691 FAX 045(444)1699

1. 適用部位 コンクリート欠損部補修、モルタル欠損部補修
適用下地 コンクリート、モルタル、PC板
適用仕上 仕上塗材、陶磁器質タイル、塗床等
標準塗厚 欠損部 5～60 mm、面施工 5～10 mm

2. 使用材料

材料名	荷姿	性状・その他
カチモルハード	20 kg／紙袋	再乳化形粉末樹脂（アクリル系カチオン）入りプレミックスモルタル

3. 施工順序



施工手順

1 下地処理

- ◆ 下地のレイタンス、脆弱層、油分、汚れ等を、ワイヤブラシ、サンダー掛け等で適切に除去してください。
- ◆ 鉄筋が露出して発錆している場合は、ワイヤブラシ、研磨紙等で除去し、適切な防錆処理をしてください。

2 プライマー塗布（吸水調整材）

- ◆ 下地乾燥後、必ずプライマーとしてハイモルエマルジョン®5 倍液を刷毛でむらなく塗布してください。
- ※ ドライアウトの原因となりますので、下地への急激な吸水を調整するために希釈倍率を厳守し、むらなく丁寧に塗布してください。
- ※ 夏場等、吸水が著しく激しい場合には塗布回数を増やしてください。

3 混練

	配合	重量比	標準練り上がり量
カチモルハード	20kg/袋	100	約 11L / 袋
水	約 3.2L	16	

- ◆ カチモルハードは、再乳化形粉末樹脂（アクリル系カチオン）が調合された、一材型のプレミックスモルタルです。
- ◆ 所定量の水（約 3.2L）を容器に入れ、次にハンドミキサー等で攪拌しながらカチモルハードを徐々に加え、十分に練り混ぜ後（約 3 分）、施工軟度に調整してください。
- ※ 強度低下の原因となりますので、標準調合を厳守してください。
- ※ 加水後の材料は、夏季 40 分以内、冬季 60 分以内に使い切り、練り足し、水を加えての練り戻しは避けてください。

4 塗り付け

- ◆ 下地に対し鍔圧を十分にかけ、厚さ「2～3mm」程度でガリッと擦り込むように塗り付けた後、所定の厚さに塗り付けてください。
- ◆ 塗厚の目安は、1日あたり30mmを限度として1回あたり5～10mmの間で塗り重ねてください。
- ※ 塗厚30mmを越える場合には、2日以上に分けて塗り付けてください。その際の工程間隔は、夏季1日以上、冬季3日以上を目安としてください。
- ※ 壁で深さ25mm上かつ0.3m²以上、または上げ裏施工の場合には、ステンレスアンカーピン、ステンレス線を併用してください。
- ※ 用途につきましてご不明な点がございましたら、施工前に必ず当社へご相談ください。

5 養生

- ◆ 仕上げ材施工までの養生期間は、7日（冬季10日）以上としてください。
- ◆ 通風や日射による早期乾燥を防止するため、必要に応じてシート養生、散水養生を行ってください。
- ※ 施工後、降雨、降雪のおそれがある場合は、強度不足、白華（エフロ）の原因となりますので、シート掛け等を行ってください。

[注意事項]

<施工上の注意>

- 気温が5℃以下の時は施工を中止するか、適切な保温、採暖を行ってください。
- 施工中及び施工後、硬化前に降雨、降雪の恐れのある場合は、施工を中止してください。やむを得ず施工する場合は、適切な養生（シート養生等）を行い、直接雨や雪がかからないようにしてください。強度不足や白華（エフロ）の原因となります。
- 現場にて砂、セメント等を追加混入することは絶対に避けてください。
- セメント製品に特有の現象である白華（エフロ）が発生することがありますが、品質には異常ありません。

※標準仕様以外での施工による不具合につきましては、
弊社では責任を負いかねますのでご注意ください。

＜使用上の注意＞

- 取扱い時は必ず保護具（保護手袋・保護眼鏡・マスク等）を着用してください。
- 取扱いは換気の良い場所にて行ってください。
- 取扱い後はうがい及び手洗いを充分に行ってください。
- 取扱い後の器具類は早めに水洗いしてください。

＜応急措置＞

皮膚に付着した場合	皮膚は多量の水で洗浄してください。汚染された衣類を脱いでください。 皮膚刺激が生じた場合は医師の診断又は手当を受けてください。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗ってください。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外してください。その後も洗浄を続けてください。 直ちに医師の診断を受けてください。
飲み込んだ場合	口をすすいでください。無理に吐かせないでください。 気分が悪いときは医師に連絡してください。

＜保管上の注意＞

- 雨露のかからない湿気の少ないところに保管し、直射日光を避け地面に直接放置しないでください。
- 購入された材料は製造日から4か月以内に使用しきってください。

＜運送上の注意＞

- 袋の損傷による内容物の漏れが無い事を確認してください。
- 転倒、落下、損傷が無いように積み込み、荷崩れの防止を確実に行ってください。
- 湿気、水濡れに注意してください。

＜廃棄上の注意＞

- 都道府県条例に基づき処理するか、許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託してください。

＜漏出時の注意＞

- 飛散したものは掃除機で吸い取るか、スコップ、ほうき等で集め、袋などで回収してください。
- 排水は中和、希釈処理などを行い、河川等に直接流出しないようにしてください。

安全上の注意事項の詳細については別途、「安全データシート(SDS)」をご参照ください。

以上